研究所だより
24号 2018.11.21

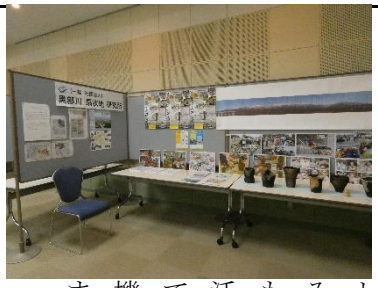
せんじょう

発行/編集　一般社団法人
黒部川扇状地研究所
Tel/fax:0765-72-0013
E-mail:senjochi@ma.mrr.jp

秋季研究例会は70人が参加して盛大に開催されました。

所長の講義「ジオサイトとしての黒部川扇状地」（第6回セミナー講義と兼ねる）と古本一司氏（黒部河川事務所長）の講演「黒部川における治水とは」が行われました。どちらも豊富な資料を使いテーマに沿った内容で厚く語って頂きました。参加者から多くの質問や意見がだされ、予定時刻を超えて協議が進みました。

当日は入善公民館の公民館まつりが行われ、館内ばかりか駐車場も満杯状態の中、開催されて参加者の皆様にはご迷惑をおかけしました。公民館まつりには研究所も展示スペースを頂き、所の紹介や縄文土器づくり講座の取り組みの紹介と作品展示を行いました。地区のみなさんにも研究所の活動を知って頂く良い機会となりました。



熱く講義する水嶋所長
ジオサイトとしての黒部川扇状地

参加者からの感想（一部）

（講義を聞いて）

・ジオサイトとしての黒部川扇状地の価値が少し分かった。住民への教育の必要性を感じた。

・身近なところに宝が眠っているんですね。自分が住んでいる地域のことを深く知ることが如何に大切か学びました。

・地元にいながらジオパークの体系的な話を聞く機会がなかった。大変よく分かった。今後、運動の行方を注目して、協力できることがあれば協力していきたい。

・ジオサイトが地域を考える運動へと話が広がり、ジオパークはやっぱり地域だと再認識できました。

・具体的に話され、よく理解できた。将来、フィールドミュージアムを作ることに関して入善町民が意識的に関心を持っていかなければならない。立山黒部ジオパークをゆっくり巡ってみたい。

・朝日町はジオパークに入らないと思っていましたが理解できましたし、更に勉強したいと思いました。スライドに映った箇所を回って見たいと思います。

講演　黒部川における治水とは
古本　一司　黒部河川事務所長

（講演を聴いて）

・黒部河川事務所の活動内容を詳しく聞けて良かった。ハードからソフト面に亘り仕事内容がよく分かりました。

・仕事の内容に感服しました。

・黒部川を中心にこの地域の治水について学べた。治水の歴史も面白い話でした。

・レジメも素晴らしく、体系的に、また時系列的に説明があり、非常にあ

りがたかった。

・豊富な資料、映像の説明が良かった。

・地球温暖化が急速に進行している。川、海の近くに住んでいる我々は、十分に対応策を念頭に置いて、進化すべきとのこと、素晴らしい教訓でした。

・いつどこで何が起こってもおかしく地球環境になっていることに不安を覚えた。

・黒部川の治水についてもっと知る必要があると感じました。

・地元をもっと知りたい。広めたいと感じた。

（本年度の取組、次年度計画について）

・水というテーマについて大変満足しています。次年度は文化遺産としての獅子舞のルールなどをお願いしたい。

・フィールドミュージアム事業のFAN検隊は非常に良い事業だと思う。今後も続けてもらいたい。フィールワーク中心の事業にはなるべく参加したい。

・扇状地に関する教養講座が良かった。いろんな講演を聴いてみたい。

・来年度はぜひ負釣山登山と河川被害石碑巡りを実施してほしい。

・高等学校との連携を望む。

たくさんのご意見を頂きました。

研究所が行っている活動に対する率直な評価を伺いました。今後の計画に生かしてよう努めたいと思います。ご協力ありがとうございました。

ガイド等研修と学習セミナー（30年度）

①地形図等から見た黒部川扇状地 6/22

②沖積平野と黒部川扇状地　7/13

③扇状地から観た山々（現地）9/26

④地下水と湧水(現地) 10/4

⑤負釣山登山（現地）6/30 中止

　国内外の扇状地の特徴（講義）　10/27

⑥ジオサイトとしての黒部川扇状地 11/10

閉校式　２月１６日(土)冬季研究例会冒頭

懇親会を行いました。

今回の懇親会の目当ては①講師の古本所長を囲んで語り合う。②この秋に受章・表彰を受けられた研究員の方々の披露をするでした。懇親会には32名のみなさんの参加があり、盛大に行われました。大いに懇親を深めることができました。

右から中瀬範幸さん、屋木　栄さん、浦山隆一さん

おめでとうございました。

屋木　栄さん（瑞宝双光章）

谷口一男さん（町政功労・地方自治）

中瀬範幸さん（町政功労・地方自治）

浦山隆一さん（町政功労・教育文化）

今回の表彰は研究所にとっても名誉であり、誇りでもあります。

谷口研究員さんは当日都合で欠席となりましたが、表彰を受けられたみなさんのこれまでのご貢献を称え、今後のご活躍を祈念して懇談が進みました。

平成３０年度冬季研究例会　うるおい館

日　時　平成31年２月16日（土）13：30～

研究発表　「黒部川扇状地～清水（しょうず）を持つ文化～」発表者　王生　透　研究員

講　演　「入善から地球をよむ」

久保　貴志　氏　朝日町教育委員会学芸員

○個人研究、部会研究、研究所の一年の活動報告、研究員相互の実践交流る。